



大津市の温室効果ガス排出量削減状況について ～最新の排出量データ(2022年度)からわかること～

大津市環境部環境政策課

大津市は、2050年の二酸化炭素排出量実質ゼロを目標に、2022年3月に「ゼロカーボンシティ」を宣言しました。また、2022年度から2030年度までの9年間を計画期間とした「大津市環境基本計画(第3次)」を策定し、大津市域から排出される温室効果ガスを2030年度に2013年度比46%削減することを目標としています。

今回は、市域における温室効果ガス排出量削減の進捗について、最新の推計データである2022年度(令和4年度)の数値を用いて説明します。なお、この内容については、令和7年11月19日に開催された「大津市環境審議会※1」において報告されたものであり、大津市ホームページに掲載中の審議会の議事録をご覧くださいと、当日の質疑応答などの詳細を確認することができます。

大津市における2022年度の温室効果ガス排出量及び温室効果ガスの種類の内訳は、図1に示すように、CO₂換算で合計約152万トンであり、種類別の内訳の大半が二酸化炭素でした。このことから、化石燃料を燃焼させたり、そこから作られた電気を使用したりすることを減らし、二酸化炭素を排出しない再生可能エネルギーに切り替えていくことが効果的であることがわかります。なお、二酸化炭素以外の温室効果ガスについては、非常に高い温室効果※2を有しており、排出量は多くありませんが二酸化炭素同様に削減を図る必要があります。

次に、図2に示すように、大津市における2022年度の発生源別二酸化炭素排出割合について、部門別の排出割合は、産業部門からの排出が最も多く、次いで運輸部門、民生家庭部門、民生業務部門、廃棄物部門となりました。ただし、産業部門から排出される温室効果

ガスの割合(30.7%)は、国や滋賀県のそれ(37%、47.4%)よりもかなり少なくなっています。これは、大津市がベッドタウンとして発達してきたため、産業構造が第三次産業(サービス業等)を中心としているこ

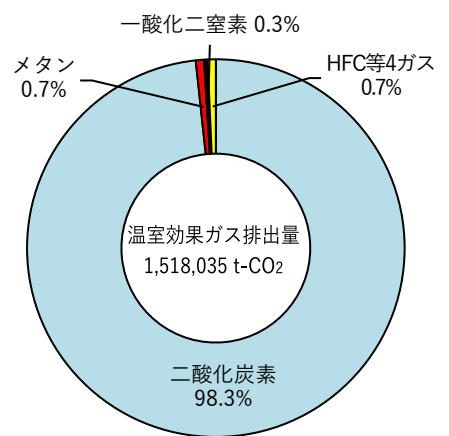


図1 温室効果ガス割合(2022年度)

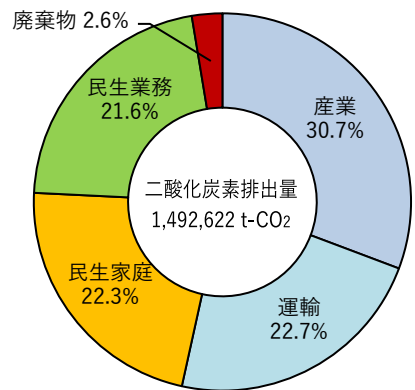


図2 発生源別二酸化炭素排出量割合(2022年度)

※1 大津市環境審議会：大津市環境基本条例に規定される市長の附属機関であり、市の区域における環境保全に関して基本的事項を調査審議させるために設置される。具体的には、環境基本計画に関する事項等を調査審議し、同計画の基本目標にも数えられる「脱炭素」の達成指標として温室効果ガス排出量削減目標が設定されていることから、毎年最新の推計データを報告している。

※2 温室効果：太陽光によって熱せられた地球の地表等から放出される赤外線を(二酸化炭素等のガスが)吸収し、熱が宇宙に逃げずに地球表面を保温する現象のこと。この影響力が強いガスを温室効果ガスと呼ぶ。人類を含む生物が生存・繁栄するためには、ある程度の温室効果ガスの存在が必要不可欠であるが、産業革命により化石燃料が大量に使用されるようになって以降、大気中の二酸化炭素濃度が急激に上昇し、地球温暖化の原因となっている。

とに起因します。さらに、1人あたりでも産業部門以外は国、滋賀県と大きく変わらないのに対し産業部門は半分以下となっています(図3)。つまり、第二次産業(製造業等)からの大規模な温室効果ガス排出は少ないものの、それらを設備更新や燃料転換によって削減する余地が少ないとも言

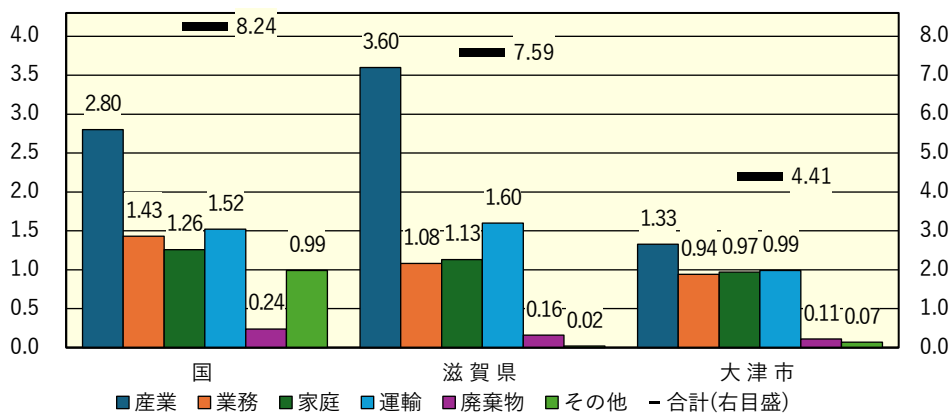


図3 部門別人口1人あたり温室効果ガス排出量(2022年度) 単位；t-CO₂

表1 大津市域における温室効果ガス排出量 単位；t-CO₂

二酸化炭素	部門	2013年 排出量 (基準年)	2021年 排出量 (前年度)	2022年			
				排出量	割合(%)	基準年比(%)	前年比(%)
	エネルギー転換部門	-	-	41	0.0	-	-
	産業部門	674,933	469,621	458,069	30.2	▲ 32.1	▲ 2.5
	民生家庭部門	475,991	310,867	332,844	21.9	▲ 30.1	7.1
	民生業務部門	481,835	321,681	323,050	21.3	▲ 33.0	0.4
	運輸部門	490,751	339,331	339,365	22.4	▲ 30.8	0.0
	廃棄物部門	27,591	38,178	39,253	2.6	42.3	2.8
	その他ガス*	55,522	40,796	25,413	1.7	▲ 54.2	▲ 37.7
	合計	2,206,623	1,520,475	1,518,035	100	▲ 31.2	▲ 0.2

四捨五入により合計が一致しない場合があります。

* その他ガスは、メタン(CH₄)、一酸化二窒素(N₂O)、ハイドロフルオロカーボン(HFC)、パーフルオロカーボン(PFC)、六フッ化硫黄(SF₆)、三フッ化窒素(NF₃)の合算値

るため、市民や事業者の日常的な活動における行動変容をいかにして促すかが肝要となります。

表1は、先述の発生源別二酸化炭素排出割合に加え、基準年(2013年度)比と前年(2021年度)比での削減割合を示しています。また、図4に示すように、基準年

度から目標年度に向けて直線的に削減を達成した場合の2022年度の見込値24.4%削減に対して、実績値は31.2%削減となっていることから、目標値である2030年度46%削減(2013年度比)に向けた進捗としては良好といえます。なお、前年度と比較した場合に削減割合が微減(部門によっては微増)となっている原因としては、電力の二酸化炭素排出係数^{※3}が増加したことが考えられます。

以上を踏まえると、大津市のカーボンニュートラル実現に向けた温室効果ガス排出削減の進捗は良好

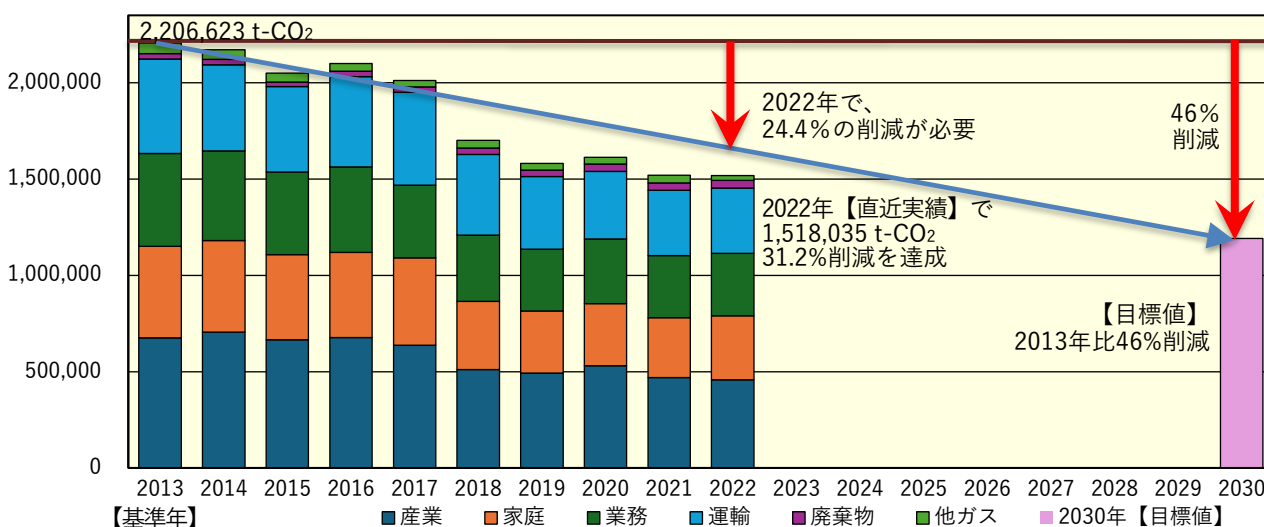


図4 大津市域における温室効果ガス排出量の推移

※3 二酸化炭素排出係数：電気や燃料などのエネルギー消費量1単位あたりに排出される二酸化炭素の量のこと。例えば今回は電気の二酸化炭素排出係数が上昇したことを述べているが、これは二酸化炭素排出量の多い化石燃料を使った発電の割合が多かったことを意味しており、これにより同じ量の電気を使用したとしても、二酸化炭素排出量が増加したものととして算定される。

ではあるものの、目標の達成にはこれまで以上に市民や事業者の皆様のご協力が不可欠と考えています。

大津市は、大津市地球温暖化防止活動推進センターと協力し、市民や事業者の皆様に向けた地球温暖化防止に関する周知啓発に努めています。また、エコ移動推進のためのシェアサイクル事業や、市民団体による温暖化防止に資する活動の補助事業など、さらなる脱炭素に向けた取組みを実施するとともに、市役所としては照明のLED化や再生可能エネルギー由来の電力導入などに、率先して取り組んでいます。これらの取組みは、先述の「大津市環境基本計画(第3次)」にもとづき実施していますが、今年度は計画期間の中間にあたることから見直しを予定しています。今後、「環境審議会」における審議を経て、年度後半にはパブリックコメントの実施を予定しています。市民の皆様にはこれらに注目していただきますとともに、是非ともご意見など頂戴できますと幸いです。

脱炭素社会づくり啓発紙発行について おおつ環境フォーラム エネルギープロジェクト

大津市地球温暖化防止活動推進センターは、2021年度から脱炭素社会づくり啓発紙「CO₂排出ゼロへの挑戦」(各A4判 4ページ)を発行しています。このほどVol.8として「輸送機器用燃料のカーボンニュートラル化」を発行しました。2050年カーボンニュートラル実現に向けてエネルギー源の電気への転換が進められていますが、自動車や船、飛行機などの輸送機器では大きく重い蓄電池を使用することになるため障害となります。当号では、その代替手段として輸送機器動力用エネルギー担体に液体燃料を用いることについて紹介しています。なお、これまでに導入編のVol.1(地球温暖化と世界の動向、各部門の対応)、続いてVol.2(再エネの種類)、Vol.3(太陽光発電の導入)、Vol.4(電気自動車)、Vol.5(住宅の断熱性改善)、Vol.6(都市ガスのカーボンニュートラル化)、Vol.7(再エネ拡大と蓄電池)を発行しています。

既刊号を含め入手ご希望の皆さまに無償でお渡ししていますので、当センターまでお問い合わせください。(送料はご負担ください)

☎ 077-526-7545

✉ info@otsu.ondanka.net



既刊号(1~7号)

□ イベント案内 7月~9月

参加ご希望の方は、開催日の10日前までに下記までお申し込みください。

対象 おおつ市民環境塾；一般市民 自然家族事業；4歳~小学生の児童とその保護者

問い合わせ先 ☎ 077-526-7545 ✉ info@otsu.ondanka.net

申込フォームはこちら▶▶▶

参加費無料



7月4日

7月2日(木) 14:00~16:00 明日都浜大津ふれあいプラザ(京阪びわ湖浜大津駅すぐ)

おおつ市民環境塾 講座4 講演「気候変動と防災」

地球温暖化に伴う自然災害の増加に備える 講師 大津市総務部危機・防災対策課ほか

7月4日(土) 10:00~12:00 大石緑地スポーツ村(大石淀)

自然家族事業 川の日②「大石川たんけん」 予備日7月11日

川底にかくれている虫たちや魚をさがします



7月25日

7月25日(土) 10:00~12:00 びわ湖大津館(柳が崎)

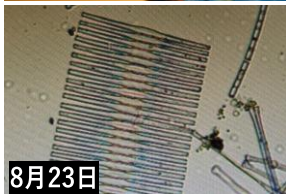
自然家族事業 びわ湖の日①「湖の学校 びわ湖の底生生物を探そう」

琵琶湖環境科学研究センターの先生方の指導でびわ湖の底生生物をしらべます

8月23日(日) 10:00~12:00 びわ湖大津館(柳が崎)

おおつ市民環境塾 講座5 体験学習「琵琶湖のプランクトンを観察しよう」

プランクトンを顕微鏡で観察 講師 琵琶湖環境科学研究センター元特命研究員 一瀬諭 博士



8月23日

9月26日(土) 14:00~16:00 明日都浜大津ふれあいプラザ(京阪びわ湖浜大津駅すぐ)

おおつ市民環境塾 講座6 講演「琵琶湖周辺の水場の多様な生きもの」

多様な環境には多様な生きものが棲んでいる 講師 琵琶湖博物館主任学芸員 鈴木隆仁 博士

おおつエコフェスタ2026を開催します

涼しい所で工作やクイズをしながら環境やエネルギーについて
家族みんなで楽しく学べるイベントです

- 日時 2026年8月9日(日)10:30~15:00
- 会場 ピアザ淡海3F大会議室・ホワイエ
- 内容 わくわく体験・エコグルメブース
シールラリー、ステージイベント

参加費無料・申込不要



アクセス

JR膳所駅から徒歩約12分
京阪石場駅から徒歩約5分



□ 開催した一般参加イベントの報告

4月25日 於瀬田公園

おおつ市民環境塾 講座1

春の野草と樹木を楽しむ自然観察会

参加26人(午前・午後の合計)

おおつ環境フォーラムの山本等氏の案内・解説で公園内を散策し、野草や樹木の見分け方、食用になるか等の利用法、名前の由来などを学ぶ。大規模商業施設や住宅団地、新幹線に囲まれながらも保たれる豊かな自然を満喫。

詳細は <https://otsu.ondanka.net/> または <https://eco-otsu.net/> をご覧ください



英国だより No.18

奥野みどり

<https://www.instagram.com/midori.window.of.opportunity/>

こんにちは。皆様いかがお過ごしでしょうか？

春の訪れを待ち望んでいた私たち、イギリスに住む人々にとってもうれしい季節がやってきました。

過去の気候では6月に雪が降ることもあったとか。もちろん今ではそんなことはありませんが、4月に入っても寒い時期が続いていました。

北緯50-60度に位置する英国は冬至を過ぎると、どんどん明るくなりますが日本と同じく2月が寒く、3月は春を待つ時期になります。明るいのに気温は上がりずコートを手放せず、心なしか暗い顔になります。しかし、やっと気温も追いついてきて、先日コートを脱いで外出することができました。

イギリスでは家の庭や公園で春を感じることができる代表的なものが、水仙やブルーベル、チューリップなどかわいい花を咲かせるものになります。日本の代表の桜は実はイギリスにもあるのですが、種類が違うのか少し寒い時期に咲くので、あまり春の暖かさを表す草木ではないのです。

日本は天気予報で桜前線を報道しますが、イギリスでは季節に関する予測などはなく、今週どんな天気かということしか報道していません。国民性なのでしょうが、最低限の情報を伝えることで、個人の判断に任せている印象です。

この時期イギリスの庭の手入れで大忙しの地元民。私はそこまで庭に時間をかけてはいないのですが、友人によると毎日2、3時間は庭のお手入れをするそうです。週末にな

ると男性が駆り出されるのか、あちこちから芝刈りの機械の音がきこえます。

「あ、うちも今日やらなきゃ」と思われるのです。

そしてこの時期畑には菜の花が植えられ、これが満開になるころ、花粉症の人にとってつらい時期になります。イギリスの花粉症、というのは花に限らず芝のアレルギーも含まれ、イギリスでは「hay fever」といいます。hayは芝のこと。花粉より芝に悩まされる人も多いのです。

私はなぜか夕方になるとくしゃみがでる、というhay feverでいつも薬を飲むか悩むところです。夜中にくしゃみがとまらず起きてしまうこともあるからです。なぜか昼間は大丈夫なので何が原因かよくわかりません。

喜ばずの春が憂鬱な人はhay feverの人かもしれないですね。



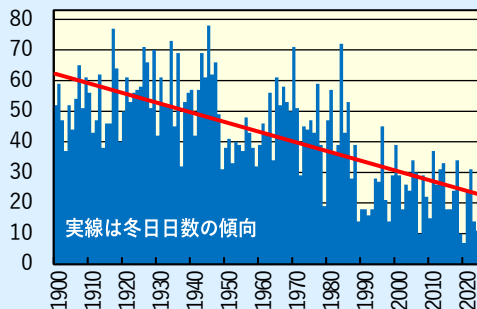
イギリスの春の訪れを知らせる花々 daffodil と 群生する blue bell

データで見る
温暖化(25)

年間冬日日数
(氷点下になった日数)

彦根 1900~2025

気象庁HPをもとに作図



発行

大津市地球温暖化防止活動推進センター
(特定非営利活動法人 おおつ環境フォーラム)
520-0047大津市浜大津4-1-1明日都浜大津4F
Tel : 077-526-7545

E-mail : info@otsu.ondanka.net

HP : <https://otsu.ondanka.net/>

編集責任 : 西山 克己

